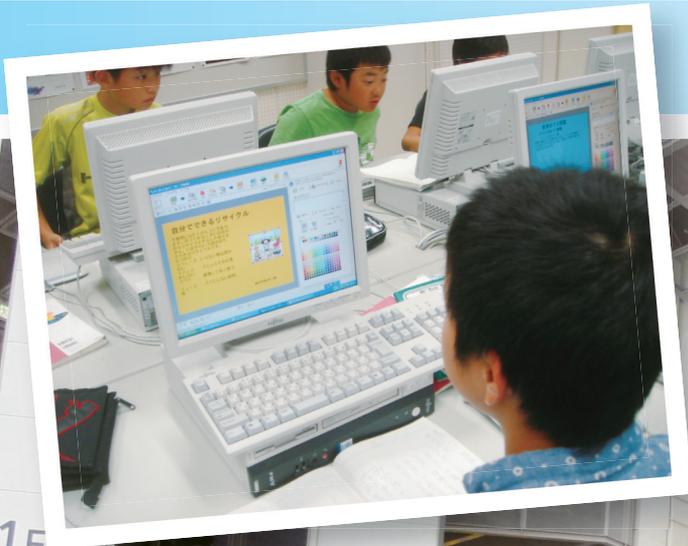


総合的な学習の時間

小学校  
3～6年生用  
テキスト



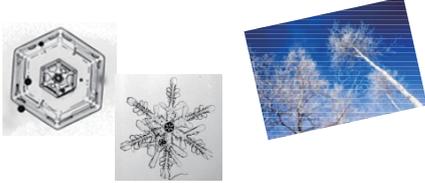
# 雪の学習 プレゼンテーション



# 雪の学習でプレゼンテーションをつくろう！

札幌市民として、雪について学習することは大切なことです。しかし、「雪」といっても、雪の何を学習するのか迷ってしまいます。そこで、雪についての学習をするときは、いくつかの「学習の範囲」にしばって取り組むことが大切です。

雪ってなんだろう？



雪のイベントやスポーツは？



雪といっしょに暮らすって？



雪を利用するってなんだろう？



## 1 テーマを決めよう

「学習の範囲」をしばったら、その中から一つ、気になったことや調べてみたいことを見つけましょう。

知っていると思うことも、よく考えると知らないことがたくさんあったり、友達と知っていることを話し合ってみると、もっと知りたくなったりすることがたくさん生まれてきます。

うかんできたキーワードを次の文章に当てはめると、自分のテーマが思いつきやすくなります。

- ・  のひみつをさぐろう！
- ・ どうやって  しているの？
- ・  にちょうせんしよう！

知っていることも、調べてみたら、おもしろそうね。



テーマが決まると調べやすいね！

## 2 調べてみよう

テーマを決めたら、<sup>じっさい</sup>実際に調べてみましょう。調べる時は、「5W1H」を明らかにすることが大切です。

Who…だれが Where…どこで  
What…何を Why…なぜ  
When…いつ How…どうやって



### (例) 雪まつりの秘密をさぐろう

#### Who

だれが、<sup>せつそう</sup>雪像を作っているの？

#### When

いつから始まったの？  
毎年いつ<sup>かいさい</sup>開催するの？

#### Where

どこで行われるの？  
どこから雪を運ぶの？

#### What

何を作っているのかな？  
道具は何かな？

#### Why

なぜ、<sup>じよせつ</sup>除雪の雪を使わないの？  
なぜ、<sup>と</sup>解けないの？

#### How

どうやってつくるの？  
どうやって<sup>さんか</sup>参加するの？

## 3 一番伝えたいことは？

調べてみると、今まで知らなかったこと、わからなかったことがたくさん見えてきます。その中で一番、「なるほど!」、「だからか!」と感じたものを「プレゼンの柱」にしましょう。



「プレゼンの柱」を決めたら、「話の流れ」を作ります。グループで相談して、上記の4つのどの<sup>かた</sup>型で話の流れをつくるか相談しましょう。相手にわかりやすく伝えるために、「どの<sup>つた</sup>写真を使うか?」、「どの<sup>しりやう</sup>資料を使うか?」、「タイトルやキャッチコピーをどうするか?」を相談し、スライドをつくる<sup>じゅんび</sup>準備をします。あらかじめ、計画書に流れを書いてから取り組むといいですね。

## 4 プレゼンテーションをつくってみよう

ここまでで、みなさんは雪について興味きょうみがあることを見つけ、自分自分なりの方法ほうほうで調べて、“プレゼンの柱”を決めることができました。

それでは、学習のまとめとして伝えたいことを柱にして、スライドを作っていきます。

### せつめい型（～の仕方）

～の仕方や作り方などは、数枚すうまいの写真れんぞくを連続れんぞくさせるだけで、話の流れが簡単かんたんにできます。

写真はプレゼンには効果的だね。  
写真だけでもプレゼンができるよ！



①



雪像せいざくができる前①と制作途中②、完成時③、取りこわし④の写真しゅんを準備へんします。大雪像おほせいざくができるまでの変化へんかで追うだけで発表はつぱつができます。

「大雪像には骨組みが作られます。」

紹介しょうかいする言葉は、話の流れを考えながら、わかりやすく写真しゅんの説明せつめいをしていきます。

「2週間ほどかけて大雪像をつくります。」

③



「これで完成かんせいです。」

完成かんせいした後も、解けた部分とを補修ほしゅうしたり、雪払いはらをしたりするそうです。

④



最後さいごのスライドでは、調べて感じたことを伝えるようにしましょう。

「2週間もかけてほり上げた雪像は安全のためにすぐに取りこわします。」

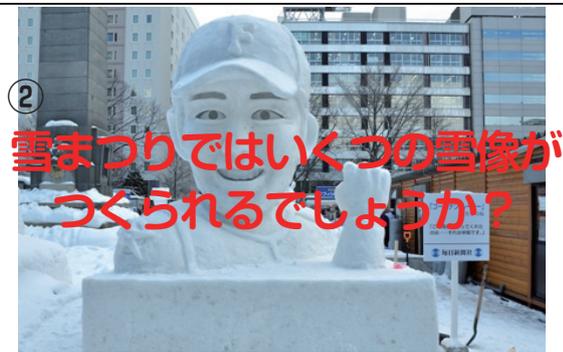
「手間暇てまひまかけて作成さくせいした大雪像をみなさんもぜひ見に行きましょう。」

## クイズ型～○○クイズ～

調べてみると、おどろいたことや感心したことがあるはずです。そのようなことを伝えるには、「クイズ」が適しています。クイズは問題と解答のスライドで1問にするといいでしょう。

### ① 雪まつり雪像クイズ

なまえ



④ **正解 300基**  
大雪像、大氷像、国際雪像、市民雪像などをすべて合わせると300をこすそうです。

何のことをクイズにしているのかを具体的にわかるようにタイトルをつけることが大切です。

「これから雪像についてのクイズを出します。」

クイズにちなんだ写真を1枚用意して出題すると、わかりやすいですね。調べてわかったことから作ります。

数字を問うクイズなどは漠然としていて難しいです。ですから、選択肢を用意すると答えやすくなります。



解答は答えだけをいうのではなく、解説を入れることが大切です。解説を聞くことで学習になりますようにします。

クイズの数を増やしていくことで、スライドは増えていきます。しかし、なんでもクイズにするのではなく、「プレゼンの柱」を意識して問題を作り、順番を考えることが大切です。

## 調査報告型～○○調べ～

高学年になると、調べることが上手になり、たくさんを知ることがができます。そこで、調べたことをしっかりと整理（調べたことの仲間分け）・分析（共通点や相違点をみつける）して、プレゼンテーションにまとめることが大切です。

### 雪まつりにかかわる人

なまえ

理由) どんな人たちが雪まつりを支えているのかなと考えました。

調べ方)

- ① 雪まつり公式HP
- ② 雪まつり実行委員会に電話
- ③ 家族への聞き取り調査



まとめ

雪まつりを支える人は…雪まつり実行委員、自衛隊、市民ボランティア、国際雪像参加外国人、警察、観光客…

多くの人が支えているんだ!

何を調べたのかがわかるように具体的にタイトルをつけます。

「私<sup>わたし</sup>たちは雪まつりにかかわる人がどれくらいいるのかを調べました。」

はじめに調べた理由とどのようにして調べたかを伝えます。

そうすることで、発表の信頼性を高めます。



調べてわかったことを、図や写真や文字を使って、わかりやすく表現します。短い文章で、見てすぐにわかるようなスライドにします。わかったことは一枚ずつスライドにしていけます。

調べてわかったことを発表した後は、必ずまとめのスライドを作り、調べ学習を整理しましょう。調べて感じたことを入れることも大切です。

伝えていく順番も大切です。分かりやすいものから、提示していきましよう。また、調べた全てを伝えるのではなく、選択することも大切です。

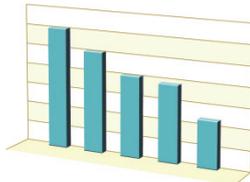
## 主張・提案型～〇〇の主張

自分たちが学んできたことをもとに、自分たちの考えを発信することがプレゼンテーションでは一番大切なことです。調べたことを根拠にして、聞き手に自分たちの主張を伝えてみましょう。

### 雪まつりがなくなる？

なまえ

さっぽろ雪まつりに参加する市民ボランティアが減少しています！



雪まつりは1950年から60年以上の歴史があります！



さっぽろ雪まつりは札幌の宝です！

・クラスみんなは雪まつりに行ったことありますか？



意外に、行ったことない人が多いね！

みんなで雪まつりにいこう！

主張するときには、調べたこと（事実）と自分たちが考えたことをしっかりと区別して話すようにしましょう。また、自分たちが実際に体験したことや取材したことには、説得力があります。

主張・提案型は、見ている人を引き付けるキャッチコピーをタイトルにするのがコツです。



最初に問題を提起します。そして、その根拠を図や写真、資料をつかって提示していきます。複数の根拠があるほど、説得力がありますね。

主張や提案をするときは、調べているものの「よさ」や「価値」を再発見し、再確認し伝えることが大切です。

まとめとして、あらためて自分が伝えたいことを主張します。

「札幌の自慢の雪まつりをこれからもずっと大切にしていきたいと思います。そのためには、私たちも参加することだと思います。」

## 5 雪にはたくさん学ぶことがあるんだよ

これまでの説明で、だれでも「雪の学習プレゼンテーション」に取り組むことができるはずです。はじめはテーマを決めたり、調べたりすることが大変かもしれませんが、そんなときは、このホームページを活用しましょう！

The image shows a screenshot of the 'Snow Learning Presentation' website with several callout boxes pointing to different sections:

- 雪の結晶の種類や観察の仕方がわかるよ!** (You can learn about the types of snow crystals and how to observe them!)
- 雪による被害を知ること大切なことです。** (It's important to know about damage caused by snow.)
- 雪の中にある生き物を調べられる!** (You can investigate living things in the snow!)
- わからないことがあったら、雪の先生に質問ができます!** (If you have a question, you can ask the snow teacher!)
- 雪に関する英語の学習ができるよ!** (You can learn English related to snow!)
- 雪を生かした遊びやスポーツなどを調べられるよ!** (You can investigate fun activities and sports using snow!)
- 雪の中での暮らし方の工夫がたくさん!** (There are many ways to live in the snow!)
- 雪を生かした大きな取り組みを紹介!** (We introduce large-scale initiatives using snow!)
- 雪に関する他のウェブサイトに行くことができるんだよ!** (You can visit other websites about snow!)
- 雪についてのクイズがたくさんあります!** (There are many quizzes about snow!)

雪たんけん館 (<http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/>)

雪には学ぶことがたくさんあります。毎年見ている雪ですが、ちょっと見方を変えただけで、わからないことが見えてくるはずです。

北海道では長い歴史の中で、<sup>きび</sup>厳しい雪とたたかってきました。それは勝つためのたたかいではなく、共に生きるためのたたかちしきいだったのです。そのためのたくさんの知識が「雪の学習」です。みんなが雪について学ぶことで、<sup>みらい</sup>未来の札幌市を作っていきます。

ぜひ、雪の学習で学んだことをたくさんの人に伝えて下さい。



※札幌市観光ライブラリー・北海道農政事務所などから写真を提供頂きました。

### 北海道雪プロジェクト「雪のテキスト・シリーズ3」

2011年12月1日発行

教育現場で児童・生徒用にコピーしてご利用ください。それ以外の目的での無断転載・複製はできません。

企画・制作： 朝倉一民 北海道雪プロジェクト

連絡先： 北海道教育大学札幌キャンパス内・北海道雪プロジェクト事務局（高橋）

科研費基盤研究C（課題番号22500838）による